

Weekly Accounting Review

2010年4月14日 (No.052)

株式会社エスネットワークス

会計・監査・税務に関する最新情報をお送りします。

【今週号のトピック】

- 会計／企業会計基準委員会「プロジェクト計画表の更新について」の公表について
- 監査／日本監査役協会「有識者懇談会の答申に関する最終報告書」の公表について

【先週の特別損益等 I R】

- 株式会社ベネッセホールディングス：子会社株式売却益の計上
- 株式会社さいか屋：減損損失及び事業構造改革費用の計上

【先週の会計監査人交代等 I R】

- 株式会社ダヴィンチ・ホールディングス
- 株式会社リック・コーポレーション

1. 企業会計基準委員会「プロジェクト計画表の更新について」の公表について（4月12日）

企業会計基準委員会は会計基準のコンバージェンスのスケジュールについて記載した「プロジェクト計画表の更新について」を公表しました。

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/press_release/overseas/pressrelease_20100412.jsp;jsessionid=CB4237E9320BE4A5D499CF070C032539

「プロジェクト計画表の更新について」によると、国際会計基準との既存の差異の解消に関する事項については、財務諸表の表示（包括利益計算書）は2010年4月～6月まで、企業結合と無形資産は2010年10月～12月に会計基準が公表される予定となっております。また、国際会計基準審議会（IASB）と米国財務会計基準審議会（FASB）との2011年6月を期限としたMOUに関するコンバージェンスプロジェクトに関連する事項については、連結の範囲は2011年下期（IASBの基準策定は2010年10月～12月予定）、非継続事業の財務諸表の表示は2011年上期（IASBの基準策定は2010年下期）、公正価値測定・開示（IASBの基準策定は2010年7月～9月）及び退職給付会計は2010年10月～12月に会計基準が公表される予定となっております。

ショート・コメント

IASBとFASBのMOUに関する事項はその大部分について2010年度中に論点整理が公表される予定となっております。

2. 日本監査役協会「有識者会議の答申に関する最終報告書について」(4月8日)

日本監査役協会は「有識者会議の答申に関する最終報告書について」を公表しました。

<http://www.kansa.or.jp/news/index.html#news100409>

当該報告書は、2008年3月に設置されたコーポレート・ガバナンスに関する有識者懇談会「の答申を受け、2009年10月に公表された「有識者懇談会の答申に対する当協会の対応について(中間取りまとめ)」を基礎として作成されております。

当該報告書の主たる内容としては、内部統制・会計監査人関連・第三者割当に関して、どのような手続が必要であるか、またこれらについて将来どのような対応が必要であるかについてが挙げられております。

ショート・コメント

当該報告書は監査役の監査のあり方について、当該報告書は非常に重要な指針を示しております。当該報告書公表を機に、より監査役監査の強化がなされることが望まれます。

3. 先週の特別損益等 I R (4月5日～4月9日)

(1) 株式会社ベネッセホールディングス(証券コード9783、東証・大証一部)：子会社株式売却益の計上【4月5日】

株式会社ベネッセホールディングスは完全子会社である株式会社アビバの全株式をスリープグループ株式会社へ譲渡価格10,000円で売却を行いました。これに伴い、株式会社ベネッセホールディングスは子会社株式売却益約11億円を特別利益に計上することとなります。よって、株式会社アビバの直近の持分は▲11億円だったこととなります。なお、株式会社ベネッセホールディングスは株式会社アビバに対する貸付金等5,472百万円を債権放棄しており、結果として株式会社アビバに多くの資金が流出したことになります。

なお、株価は発表日終値4,000円から発表日翌日終値4,035円と35円上昇しております。

(2) 株式会社さいか屋(証券コード8254、東証二部)：減損損失、事業構造改革費用の計上【4月8日】

株式会社さいか屋は2010年2月1日に事業再生ADR手続が成立し、当該事業再生手続の実施に伴い、土地・建物の減損損失2,539百万円、事業構造改革費用1,729百万円を特別損失に計上することとしました。事業再生計画における2010年4月11日2月期の売上高55,381百万円、営業利益▲24百万円、当期純利益▲11,233百万円であったのに対し、上記特別損失計上後の連結通期業績予想では売上高57,000百万円、営業利益270百万円、当期純利益▲10,640百万円となっており、ほぼ事業再生計画と同じ結果になることが見込まれております。

なお、株価は発表日終値46円から発表日翌日終値47円と1円上昇しております。

4. 先週の会計監査人交代等 I R (4月5日～4月9日)

(1) 株式会社ダヴィンチ・ホールディングス(証券コード4314、ヘラクレス)【4月9日】

株式会社ダヴィンチ・ホールディングスは債務超過の状態となっており、債務超過の解消が課題となっております。このような状況のもと、自社の企業規模に合致した会計監査人に変更する必要があるとして、会計監査人であるあずさ監査法人与今期監査契約を締結しないことで合意しております。これに伴い、株式会社ダヴィンチ・ホールディングスの監査役会は、霞が関監査法人を一時会計監査人に選任しております。

(2) 株式会社リック・コーポレーション（証券コード3147、ヘラクレス）【4月9日】

株式会社リック・コーポレーションは会計監査人である有限責任監査法人トーマツとの監査契約が終了したことに伴い、新たに栄監査法人与監査契約を締結することとしております。

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社エスネットワークス 公認会計士 橋本 卓也

Tel:03-5573-4661 / t-hashimoto@esnet.co.jp